

製品名: CTCF ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87120**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:83 kDa; Observed MW:140 kDa

抗原情報

遺伝子名	CTCF
別名	MRD21
遺伝子 ID	10664
SwissProt ID	P49711
免疫原	ヒト CTCF の合成ペプチド

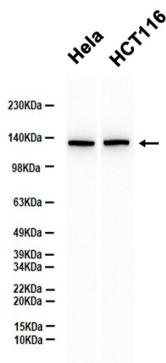
背景

この遺伝子は BORIS + CTCF 遺伝子ファミリーのメンバーであり、11 個の高度に保存されたジンクフィンガー（ZF）ドメインを持つ

転写調節タンパク質をコードしています。この核タンパク質は、ZF ドメインの様々な組み合わせを用いて、様々な DNA 標的配列およびタンパク質に結合することができます。結合部位の状況に応じて、このタンパク質はヒストンアセチルトランスフェラーゼ (HAT) を含む複合体に結合して転写活性化因子として機能するか、ヒストン脱アセチル化酵素 (HDAC) を含む複合体に結合して転写抑制因子として機能することができます。このタンパク質が転写インシュレーターエレメントに結合すると、エンハンサーと上流プロモーター間の情報伝達を阻害し、インプリント発現を調節することができます。この遺伝子の変異は、浸潤性乳がん、前立腺がん、およびウィルムス腫瘍と関連付けられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2010年7月]

研究分野

画像データ



CTCF ウサギモノクローナル抗体を 1:3000 で使用して HeLa、HCT116 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。